

## 【とうきょう すくわくプログラム活動報告書】

活動日時	2025年8月29日（金）
クラス	2歳児うさぎ組

① 年間テーマ	自然
---------	----

② 活動内容（ねらい）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・砂（キネティックサンド）の感触を楽しむ</li> <li>・型に入れたりすくったり思い思いに遊んでみる</li> </ul>
-------------	--

子どもの姿

・直に触ってみて、いつもと違った感触の砂に興味を持つ。  
 ・シャベルですくい、形ができる砂を不思議そうに見たり、食べる真似をしておままごとに発展しようとする。

③ 環境のデザイン	キネティックサンド（室内用砂）・ブルーシート・砂を入れる容器・カップや型、スプーン等のお砂場セット
-----------	---

④ 活動実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手で握る・カップ等を使い、形を作る等して、砂の感触を楽しむ。</li> <li>・会話も増え、子ども同士でのやり取り（おもちゃの交換やおままごと）を楽しんでいる様子が見られる</li> </ul>
--------	--

子どもの言葉・姿・保育者とのかかわり等

1歳児クラスの時から、砂場で遊ぶ経験が多かったので、大好きな砂遊びが室内で出来ることにとても喜び「お部屋でお砂が出来るの?」「楽しい!」「おもしろい!」と声があがっていた。

ままごと用の玩具やお砂場セットを用意すると、形を作ったり食べ物を作る等一人ひとりが考えて遊ぶ姿が見られた。なかには1時間程集中して遊び込む子どもの姿もあった。

段々と感触や遊び方がわかってくると、「ど〜ぞ!」「これはどうやってやるの?」「なにつくっているの?」と大人やお友達同士の会話も増えていった。



⑤ 振り返り（保育者の気づき）	暑い日が続いたり雨で思うように外遊びや自然と触れ合うことが出来ない日に取り入れてみるのには最適だと思い購入した。普段よりより砂の感触を楽しんでいたと思う。「ぎゅってしたら、かたまつたよ!」と形を作っては大人に嬉しそうに見せていた。大人も子どもと一緒に楽しむことで、より遊び込むことができたと感じた。
-----------------	---